

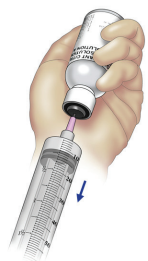
スマートプレップ PRP システム

クイックステップガイド

TERUMOBCT

詳しい使用方法については、スマートプレップ PRP キットに含まれる添付文書を参照してください。注：すべての手順において無菌操作を行い、患者さまの安全および調製物の品質を確保してください。

1

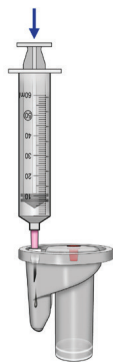


採血シリンジに針を付け、ACD-A 液を吸引します。

PRP30：30 mL 採血用シリンジに 4 mL の ACD-A

PRP60：60 mL 採血用シリンジに 8 mL の ACD-A

2



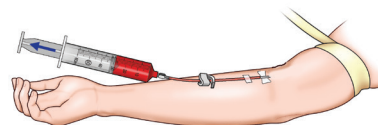
プロセスディスポーザブル* のプラズマチャンバー（白いアウトレットポート）に 1 で取った ACD-A の一部を吐出します。

PRP30：1 mL の ACD-A を吐出（3 mL が残る）

PRP60：2 mL の ACD-A を吐出（6 mL が残る）

*：キットに含まれます

3



患者さまから末梢血を採血用シリンジにて採取します。

PRP30: 末梢血液 27 mL（最終的に 30 mL となる）

PRP60: 末梢血液 54 mL（最終的に 60 mL となる）

4



3 で採取した血液をプロセスディスポーザブルに移します。

採血シリンジの針をプロセスディスポーザブルの赤いインレットポートに挿入して、内容物をゆっくりと吐出してください。血小板の活性化を防止するために、約 1 mL/秒の速度で吐出すること。

5

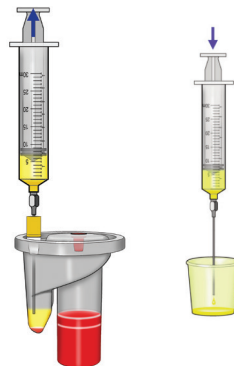


プロセスディスポーザブルを SmartPrep 遠心機に懸架します。

プロセスディスポーザブルがローターに正しく懸架されていることを確認し、遠心機のフタを閉じて、PRP ボタンを押します。

注：システムのバランスがとれるように、必ず反対側のローターバケットに同じ容量のプロセスディスポーザブル、またはそれに相当するバランサーを懸架してください。

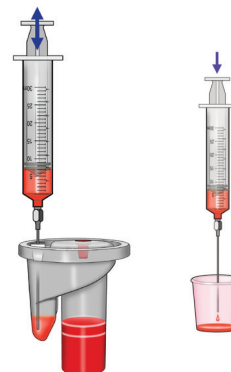
6



PPP（乏血小板血漿）を取り除きます。

遠心分離終了後、希望容量に合わせたスパーサーの付いた針*を装着したシリンジを使用して、白いアウトレットポートから PPP を取り除きます。シリンジ内に気泡が現れるまで吸引します。PPP は黄色いカップに廃棄してください。

7



PRP を再懸濁します。

スパーサーの付いていない針*を装着したシリンジを使用して、残りの血漿と沈査を懸濁してください。血漿をシリンジにゆっくりと吸引して、ゆっくりと吐出することを繰り返します。シリンジに泡が混入しないようにしてください。無菌野で、PRP を赤いカップに移し、適宜使用してください。

8



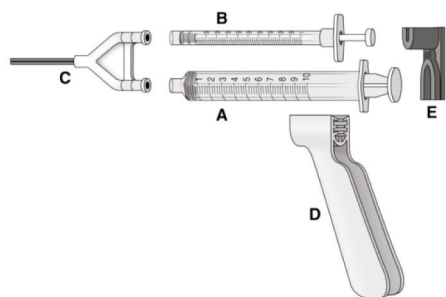
必要に応じて活性化溶液を調製します。

無菌野で、活性化溶液を透明なカップに移し、適宜使用してください。

リキッドアプリーケーター (LK)、スプレーアプリーケーター (SKS)

クイックステップガイド

TERUMOBCT



1

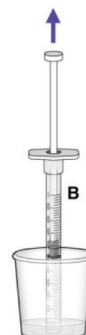
キットに以下の部品が含まれていることを確認します。

- A. 10 mL シリンジ
- B. 1 mL シリンジ
- C. アプリーケーター先端部
- D. ハンドル
- E. クリップ



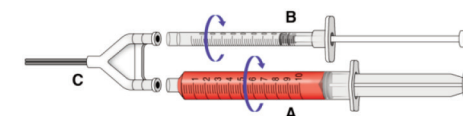
2

赤いカップから 10 mL シリンジ内へ PRP を吸引します。



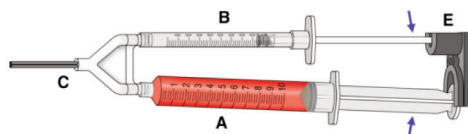
3

透明なカップから 1 mL シリンジ内へ活性化溶液を吸引します。



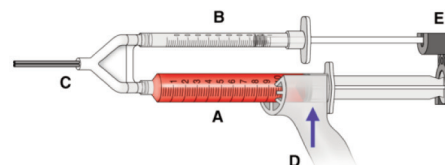
4

シリンジ (A および B) を時計回りに回して、アプリーケーター先端部 (C) に取り付けます。



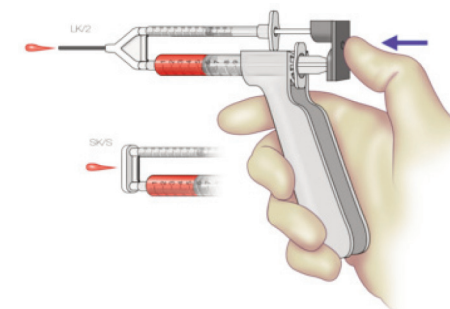
5

クリップ (E) を各シリンジのプランジャーに取り付けます。



6

ハンドル (D) を 10 mL シリンジの外筒にカチッと はめ込みます。



7

アプリーケーターを使用する準備が整いました。